

TOSHIBA

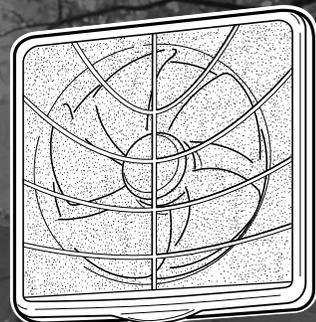
Leading Innovation >>>



形名

電気式

VFM-20WF
VFM-25WF



東芝換気扇

取扱説明書

- このたびは東芝換気扇をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1 ~ 2
各部のなまえと操作のしかた	3
お手入れのしかた	4
取り付けかた	5 ~ 6
仕様	6
修理を依頼される前に	7
ご不明な点や修理に関するご相談は	7

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

- 商品および取扱説明書にはお使いになるかたやほかの人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。
- 記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

表示の説明



警告

“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（* 1）を負うことが想定される内容”を示します。



注意

“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（* 2）を負うことが想定されるか、または物的損害（* 3）の発生が想定される内容”を示します。

* 1: 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

* 2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

* 3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



禁止

⊘ は、禁止（してはいけないこと）を示します。

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



指示

● は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。

具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



警告



異常・故障時にはすぐに使用を中止する

発煙・発火・感電の原因になります。

使用を
中止する

すぐに差込みプラグを抜いてお買い上げの販売店または、東芝エアコン空調換気ご相談センターに点検・修理を依頼してください。

《異常・故障例》

- スイッチを入れても羽根が回転しない
- 運転中に異常音や振動がする
- 回転が遅い、または不規則
- こげ臭いにおいがする



改造はしない

火災・感電・けがの原因になります。

改造禁止



羽根の取り付けは「カチッ」と音がするまで押し込み、はずれないことを確認する

確実に
取り付ける

「カチッ」と音がしないと、運転中に羽根が落下しけがの原因になります。



修理技術者以外の方は、分解、修理（※）をしない

火災・感電・けがの原因になります。

分解・修理
禁止

※修理はお買い上げの販売店または、東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。



内釜式風呂が設置された住宅では使わない

使用禁止

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。



電源は交流 100V を使う

交流 100V 以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。

交流 100V
使用



煙突排気の燃焼器具をご使用のときは、空気の取入口より、十分給気される配慮をする

給気を
確実に

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。



メタルラス張りなどの金属造営材に取り付けるときは、金属造営材に接触しない

接触禁止

漏電したとき、火災・感電の原因になります。



お手入れ、取り付けのときは、差込みプラグをコンセントから抜く

プラグ
を抜く

また、ぬれた手で抜き差ししない

感電・けがの原因になります。

警告



水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない

水かけ禁止 漏電により、火災・感電の原因になります。



差込みプラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着しているときはよく拭く

ほこりをとる 火災の原因になります。



ガス漏れの場合は、換気扇のスイッチを入れたり切ったりしない

入り切り禁止 ガス爆発の原因になります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、たばねたり、電線に荷重をかけたりしない

使用禁止 火災・感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込み、電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

使用禁止 火災・感電の原因になります。

注意



電気工事は電気工事士(※)が行う

電気工事士が実施 電気工事士以外の方が工事をすると火災・感電・けがの原因になります。
※電気工事士への依頼はお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



化粧枠のすき間から、棒や針金などを入れない

接触禁止 感電・けがの原因になります。



強度のある場所に確実に取り付ける

確実に取り付ける 落下により、けがの原因になります。



化粧枠・羽根や部品は確実に取り付ける

確実に取り付ける 羽根の取り付けがスムーズに入らない場合は、モーターシャフトにミシン油など機械油をさしてから取り付けます。
取り付けが不完全ですと羽根の落下により、けがの原因になります。



高温(周囲温度40℃以上)になる場所や直接炎のあたるおそれのある場所では使用しない

取付禁止 火災の原因になります。



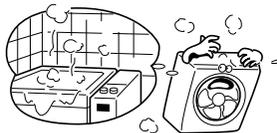
長期間ご使用にならないときは、差込みプラグをコンセントから抜く

プラグを抜く 絶縁劣化による火災・感電の原因になります。



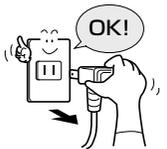
浴室など湿気の多いところでは使わない

使用禁止 火災・感電の原因になります。



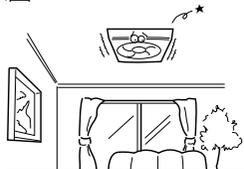
差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く

プラグを持って抜く コードに傷がつき、火災・感電の原因になります。



天井には取り付けない

取付禁止 落下により、けがの原因になります。



異常な振動がするときは、使わない

取付禁止 本体・部品の落下により、けがの原因になります。



お手入れ、取り付けのときは、ゴム手袋を使う

手袋着用 けがをする原因になります。

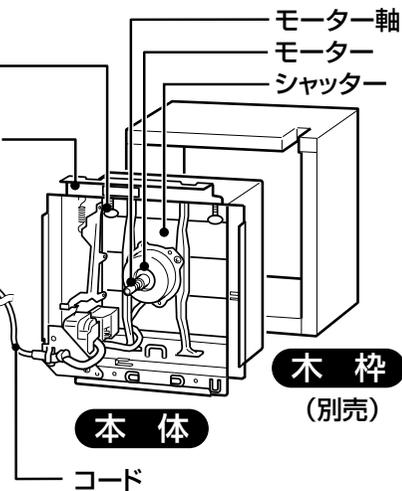
各部のなまえと操作のしかた

操作のしかた
壁スイッチで操作します。
入：運 転
切：停 止



取付ねじ(2カ所)
形名表示
安全上の注意ラベル

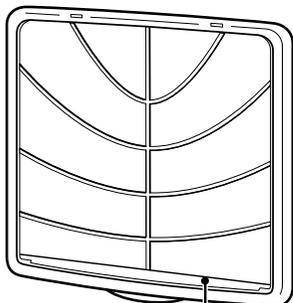
差込みプラグ



木 枠
(別売)

本 体

コード

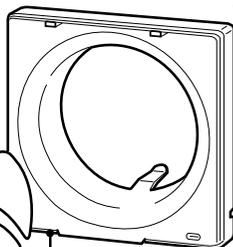


フィルター

オイルパック



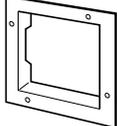
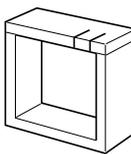
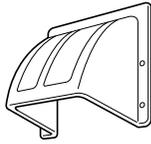
羽 根



化粧枠

長期使用製品安全表示ラベル(下面にあります)

別売部品 詳しくはカタログをご覧ください。

 <p>絶縁枠 取付場所が金属張りのとき</p>	 <p>木 枠 壁面がメタルラス、ワイヤラス張りのときや、壁穴に固定し換気扇を取り付けるとき</p>	 <p>ウェザーカバー 屋外に取り付け、雨風の侵入を防ぐとき</p>	 <p>ビルトインコンセント (BCT-2) コンセントを本体内部に設け壁面をすっきりさせるとき</p>
---	---	---	---

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた右の表示を本体に行っています。



【製造年】○○○○年 【設計上の標準使用期間】 13年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

■設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件 JIS C 9921-2による

環境条件	電 圧	単相100V	機器の定格電圧による
	周 波 数	50/60Hz	
	温 度	20℃	
	湿 度	65%	JIS C9603参照
	設置条件	標準設置	機器の据付説明書による
負荷条件		定格負荷 (換気量)	機器の取扱説明書による
想定時間	1年の使用時間	換気時間* ●台 所 2,410時間/年 ●トイレ 2,614時間/年 ●居 室 2,193時間/年 ●浴 室 1,671時間/年	

注) * 常時換気 (24時間連続換気) のものは、8,760時間/年とする。

■経年劣化とは

- 長期にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。
- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

お手入れのしかた

■お手入れの準備

- 差込みプラグを抜いてください。



ビルトインコンセントをご使用のときはブレーカなどの電源を切ってください。

- ゴム手袋を着用してください。本体やシャッター端面には十分に注意してください。



- お手入れは台所用中性洗剤をご使用ください。



フィルターをはずすには

- ② 持ちあげ、ツメをはずす。



① 手前に引き

- オイルのこぼれに注意

- 捨てるときは、折り目で2つ折にできます。



汚れた面を内側にして片側ずつ折ってください。

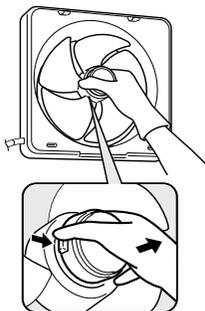
■フィルターの交換

フィルターに付着した油が粒状になり、羽根が見えにくくなったら、別売フィルターと交換してください。

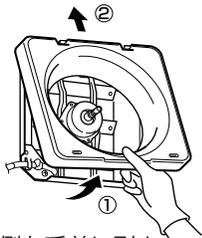
別売部品	形名	適用機種
フィルター	F-20WF	VFM-20WF
	F-25WF	VFM-25WF

羽根と化粧枠をはずすには

羽根をはずします。



化粧枠をはずします。



- ① 下側を手前に引き、
- ② 上に持ち上げながらはずします。

ボタンを押しながら手前に引きます。

■羽根と化粧枠のお手入れ（3か月に1回）

- 1 台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃くらい）に浸します。
- 2 布ややわらかいスポンジでよごれを落とし水で洗い流します。
- 3 水気を布でふきとります。
- 4 羽根軸穴は十分に乾燥させ、モーター軸にマシン油など機械油をさしてから取り付けてください。

※潤滑・サビ落とし剤（高分子化学配合剤）は使用しないでください。モーター寿命が短くなるおそれがあります。



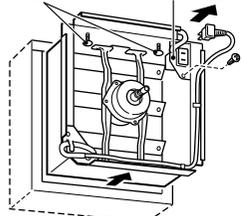
お願い

モーター軸がさびますと、取り付けが不完全となり、羽根が落下するおそれがあります。

本体を木枠からはずすには

- ビルトインコンセントのときはコンセント取付板ごと本体よりはずし、取付ねじをゆるめ手前に引き出します。

取付ねじ コンセント取付板



- 外部コンセントのときは、取付ねじをゆるめ、手前に引き出します。

■本体とシャッターのお手入れ（6か月に1回）

台所用中性洗剤を浸した布でよごれをふき取った後、乾いた布で洗剤をふき取ってください。



お願い

本体には水をかけないでください。故障の原因となります。

お手入れ後の組み立て

はずした逆の順序で行ってください。

羽根取り付け時のお願い

「カチッ」と音がしないと、運転中に羽根が落下するおそれがあります。



ボタンを押さずに「カチッ」と音がするまで押し込みます。「カチッ」と音がしないときは、羽根を少し引き出し、もう一度押し込みます。「カチッ」と音がすることを必ず確認してください。

取り付け後の点検

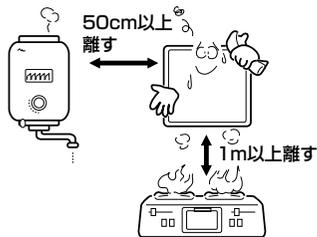
- 羽根、化粧枠、フィルターの取り付けは確実か。
※羽根はボタンを押さずに手前に引っ張り、はずれないこと。
- シャッターが正常に動作するか。
- 異常な振動や騒音がないか。

取り付けかた

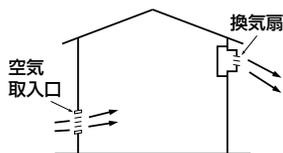
汚れやけがの防止のためゴム手袋をしてください。

つぎのことをお守りください

- 高温（周囲温度 40℃以上）になる場所、腐蝕性ガスの発生する場所に取り付けしないでください。プラスチック部品が変形したり絶縁が悪くなり感電することがあります。



- よごれた空気を排出するには、新鮮な空気が必要です。窓を少しあけるか、木枠と同じ寸法以上の空気取入口を設けます。



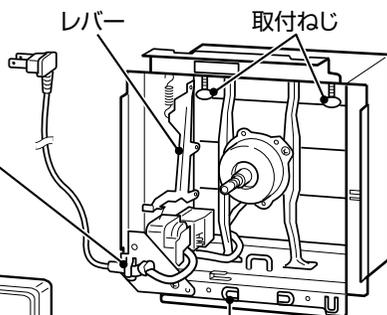
- フード内のような温度が高くなる場所には取り付けしないでください。（不燃形を使用してください。）火災・落下により、けがの原因になります。



フィルター、羽根、化粧枠は“お手入れのしかた”（4 ページ）の手順で取りはずします。

1 本体の取り付け

取付ねじ(2本)で締め、固定する。



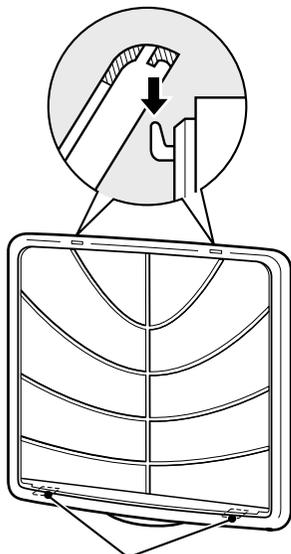
2 電源コードの固定



電源コードを右側に出すとき

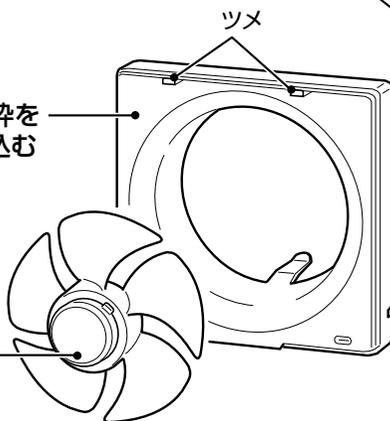
3 化粧枠をはめ込む

化粧枠のツメに引っかけて



4 羽根をはめ込む

ボタンを押さずにカチッと音がするまで押し込む



5 フィルターを取り付ける

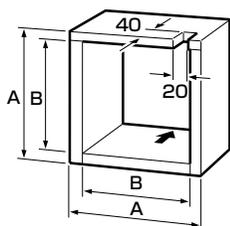
化粧枠のツメに引っかけてから下の取付部を押し込む

お願い

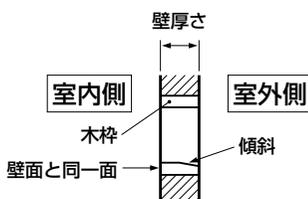
本体を持つときはレバー部を持たないでください。

木枠の取り付けかた

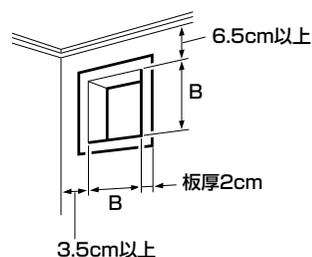
- 図のような溝を設けた木枠を用意します。木枠は別売りしております。(20KB₂、25KB₂)



- 雨水の侵入防止のため、木枠下部の室外側を傾斜させます。



- 取付位置



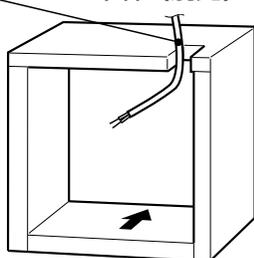
木枠形名	適用機種	A寸法	B寸法	単位: mm
20KB ₂	VFM-20WF	□290	□250	
25KB ₂	VFM-25WF	□340	□300	

ビルトインコンセント(別売 形名: BCT-2) の取り付けかた (電気工事に依頼)

- 電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。

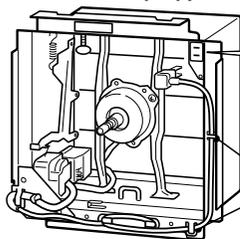
- 1 ケーブルを木枠の溝から引きだします。

木枠 (別売)



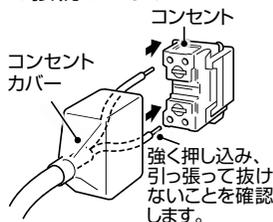
お願い
本体取り付け時、ケーブルを押え付けないようにしてください。

本体



- 6 コードをコード押え(2カ所)で固定します。

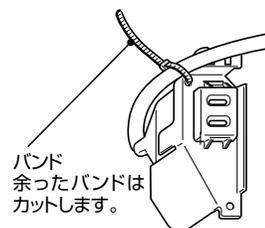
- 2 ケーブルにコンセントカバーを通し、コンセントを接続します。



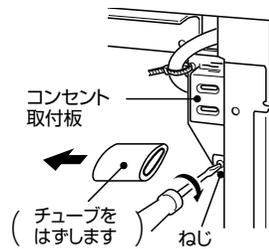
- 3 コンセントをコンセント取付板に取り付けます。



- 4 ケーブルをバンドでコンセント取付板に固定します。



- 5 コンセント取付板をねじで本体に固定します。



仕様

電圧100V(50Hz-60Hz共用)

方式	形名	消費電力(W)		風量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
電気式	VFM-20WF	17.5	19.5	414	426	31	32	2.1
	VFM-25WF	25	27	666	666	34	34	2.5

- 風量の測定方法は JIS C 9603 による。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

修理を依頼される前に

■ 下記のような現象が生じた場合は、お客様自身で点検してください。

現象	点検
スイッチを入れても羽根が回転しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ブレーカーが切れていませんか。 ● 停電ではありませんか。
運転中に異常音や振動がする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 換気扇が確実に取り付けられていますか。 ● 羽根が確実に取り付けられていますか。

■ 上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、すぐに電源を切って、お買い上げの販売店・工事店に点検・修理をご依頼ください。(有料)

★ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は **お買い上げの販売店へご相談ください。**
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター

フリーダイヤル

0120-1048-00

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど 03-5326-5038 (通話料：有料)

FAX 045-461-3493 (通信料：有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

修理を依頼されるときは

●ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源スイッチを切り、差込みプラグのあるものは差込みプラグもコンセントから抜いて、お買い上げの販売店・工事店にご連絡ください。

出張修理

ご連絡していただきたい内容

品名	換気扇
形名	
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買上げ店名 ☎ () -

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ、技術者を派遣する料金です。

補修用性能部品の保有期間

- 換気扇の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。



愛情点検

●長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際
このようなことは
ありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅い、または不規則。
- こげ臭いにおいがする。

ご使用中 止

故障や、事故防止のため、電源を切って必ず販売店・工事店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店・工事店にご相談ください。

東芝キヤリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原 336 番地

本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助として、主なプラスチック部材に材料名を表示しています。